

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成 26 年 3 月 27 日 (2014.3.27)

【公表番号】特表 2011-504731 (P2011-504731A)

【公表日】平成 23 年 2 月 17 日 (2011.2.17)

【年通号数】公開・登録公報 2011-007

【出願番号】特願 2010-535268 (P2010-535268)

【国際特許分類】

A 2 4 D 3/02 (2006.01)

【F I】

A 2 4 D 3/02

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 26 年 2 月 7 日 (2014.2.7)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 6 1

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 6 1】

図 19 は好ましい第十六実施例を示し、図 9 による好ましい第六実施例とは、分配ローラが無く、分配装置 50 が実質的に供給区分 40 a に付属された分配スライダ 66 のみを有することを相違する。分配スライドの配列と機能に関して、図 9 に示された好ましい第六実施例の記載で明らかになる。供給縦坑 44 a の出口に着座する分配スライダ 66 の下部には、衝突薄板 86 が存在し、重量計量装置 88 と連結されていて、特に計量タンクを有する。衝突薄板 86 が斜め下方に傾斜されて、直接に揺動溝 90 の頭部で終了し、図 19 で認識されるように、揺動溝がフィルタウ帯 8 a を案内するフィルタウ案内区間の方向に斜め下方に傾斜されている。この実施例では、活性炭粒子の分配は実質的に専ら分配スライド 66 により生じる。供給縦坑 44 a の流出後に分配スライダ 66 の下部に活性炭粒子が衝突薄板 86 に落下し、重量計量装置 88 によって活性炭粒子の正確な重量が検出される。衝突薄板 86 から揺動溝 90 への移行後に、揺動溝 90 内の活性炭粒子 70 が実質的に一定質量流に比較して、フィルタウ帯 8 a に搬送される。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 6 8

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 6 8】

2、4、6 装置

8 a、8 b フィルタウ帯

12 選別モジュール

14 ハウジング

16 入口

20 ブレーキ装置

30 a、30 b 下転向ロール

32 a、32 b 上転向ロール

34 輸送ノズル

36 流入フィンガー

40 供給装置

4 0 a、4 0 b 貯蔵容器
4 2 貯蔵容器
4 4、4 4 a、4 4 b 供給縦坑
5 0 分配装置
5 2 a、5 2 b 分配ローラ
5 3 回転軸線
5 6 分離薄板
5 8 a、5 8 b モータ
6 4 戻し導管
6 6 分配スライダ
6 8 a、6 8 b 散布縦坑
7 0 活性炭粒子
7 4 旋回部材
7 4 a、7 4 b 板状部分
7 6 回転継手
7 8 分離薄板
8 0 調整機構
8 2、8 4 分離壁
8 6 衝突薄板
8 8 重量計量装置
9 0 揺動溝
9 2 分配スクリー
9 4 吸込み管
9 6 送風機
9 8 別の導管
1 3 4 a 輸送ノズル

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項 2 3

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項 2 3】

制御装置は添加剤（70）の重量を検出する少なくとも一つの重量計量装置（88）を有し、検出された重量に依存して付属分配手段（90）とそれにより与えられた添加剤（70）の量を制御することを特徴とする請求項 2 1 或いは 2 2 に記載の装置。